

自分たちの環境を自分たちで守る



あしなが心塾(東京都日野市)の塾生みずからコロナ諮問委員会を設立し、食堂のシールドやソーシャルディスタンスなどの徹底で感染を予防につとめている

学生寮「あしなが心塾」(以下「心塾」)は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月から2か月間閉鎖となった。それまで新型コロナウイルスの問題について受け身であった私たちが、心塾を再開し感染予防対策をするにあたり、自分たちが自主的に動かないといけないと感じたことから、「あしなが心塾コロナ諮問委員会」を発足させた。まず有志を募ると11名が手を挙げた。毎週欠かさず会議を行い、変わり続ける

心塾のコロナ対策

状況を新聞やインターネットなどで調査し、塾で行える感染症対策を考案・実施していった。具体的には、毎日の検温の実施、食堂のシールド、寮棟内のサーキュレーターを設置、手洗いはもちろん、感染リスクを下げるようなソーシャルディスタンスの取り方、寮棟内の換気についてのガイドラインなども作成した。東京都の感染者数も玄関の目立つ位置にあるホワイトボードに毎日記録している。

万が一感染者が出た時の心塾の対応についても、心塾に縁のある医師の方にアドバイスを仰ぎながら、いざというときにスムーズに動くため、どのように隔離を進めるかについての指針を練っていった。理想では厳しい感染症対策をしたいのだが、そうすると「個人個人のストレス管理を重視したほうが良い」という塾生からの反発があったり、か

はないのだが、彼らに戻されてしまった。ただ、皆が協力した結果、今まで1人も陽性者を出すことなく現在に至っている。大学の授業の多くはオンラインだが、長い間サークル活動が大学から禁止されたり、次年度のゼミを決めるための研究室訪問が出来なかったりした。1年生の中には「学校の友人が1人もできていない」と嘆く者もいる。状況は少し改善されたが、いまだ皆、大きなストレスを感じ続けているように思う。また授業以外でも、心塾は都心から離れていて、しかも感染リスクを下げるため長い間門限を21時(現在は23時)に設定していたため、「留学や将来の準備のための活動やアルバイトなどが思うようにいかない」という声もよく聞かれた。

これは塾生が個人の生活に引きこもって、自分ひとりのことしか考えないような人間にならないようにするため、そしてきちんと隣人とコミュニケーションをとって日々の寮生活のトラブルを乗り越えていけるようにするためである。ところが感染症対策では「1人になること」が推奨されていたため、今年度はずっと行うことができず、結果的に塾生同士のつながりが希薄になった部分もあった。そんな中、9月からは心塾の公式行事やカリキュラムも一部再開し、塾生同士の交流も以前より活発になった。学校での生徒会に当たる「執行部」(塾生長と各委員会の長から構成)も何とか通常の塾に戻すため、危機意識をもって行事の運営に取り組んでいった。我々コロナ諮問委員会としても、そういった活動を最大限可能できるように「ウィズコロナ」の考え方で、バランスの取れた感染症対策を進めている。11月に予定されている塾生総会でも、感染症対策を全体でのディスカッションの議題とし、塾生の緊張がゆるみすぎないように、自分の問題として再確認させるとともに、お互いより多くのコミュニケーションをとり、「風通しの良い」塾にしていきたいと考えている。

試行錯誤の日々

つながりを大切に

といて注意をしないとマスクをはずす人が出てきたり、シールドがあるのにそれを避けて話してしまったりと、ストレスをかけるようなことと規律を守らせることの葛藤に苦しんだ。

あしなが心塾では、読書感想文や英語レッスンなどのカリキュラムのほかに、毎月の行事や集会できちんと顔を合わせて定期的に交流するようにスケジュール

留學生については、日ごとの接する情報の違いや言語の壁により、「濃厚接触をしないように」と言っても、その定義を理解してもらえないなったり、せっかくの感染防止用に椅子をまばらに配置しても、(全く悪気



あらおか こうた 荒岡 宏太 さん
日本大学理工学部3年
あしなが心塾塾生
コロナ諮問委員会メンバー

街頭募金ができなくても あしなが奨学生は諦めない

「あしなが学生募金」の街頭活動は、コロナのため今秋もできなくなったが、奨学生たちは「できることを考えて、実行しよう!」と奮闘している。

そのひとつが、「#一緒に募金しませんか?」。全国の企業や学校に対して、社内・校内での募金を呼びかけてもらおうというキャンペーンだ。これまでに約30団体が登録してくれた。

獨協埼玉中学高等学校のインターアクト同好会は毎年、新越谷駅で街頭募金に参加してくれていたが、「コロナ禍でも、お手伝いができるのであれば」と今回もご協力いただいた。顧問の小田恵子先生からは「(同好会の生徒は)食堂売店前にてシフトを組んで担当しました。職員室に出張もして先生からの募金もあり、合計で29,048円集まりました。わずかですが役立ててい

団体内募金・クラウドファンディング実施中

ただければ幸いです」との、ありがたいメールをいただいた。

また、11月1日から来年2月8日までは、街頭募金をオンライン上に再現することを目指すオンライン募金キャンペーン「あしながグローバル100チャレンジ」(以下、「100チャレンジ」)を実施中。今年4~7月に実施した前回「100チャレンジ」では、延べ981人の方から、累計12,485,680円のご支援金をいただいた。今回は、クラウドファンディングサイト「GoodMorning」上に特設ページが設置され、約50人のボラ



クラウドファンディングサイト上の本会募金プロジェクト

ンティア学生がページを作成し、本来街頭で伝えなかったそれぞれの想いや「あしながさん」への感謝を綴っている。ぜひ、ご覧ください。

クラウドファンディングへのご参加は、右記のQRコードから <https://camp-fire.jp/goodmorning/channels/ashinaga>

